

平成 30 年 7 月 30 日

平成29年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所 属	Porque ART	職 名	現代アーティスト	助成 金額	200,000 円
氏 名	三木麻郁 印				
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）					
芸術と社会のより健やかで近い関係を築く					
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>創作活動に取り組みたい意欲的な子どもや大人たちのために、文京区に構えたアトリエを週に3~4日開放できるようになった。一昨年から昨年にかけては、2週間のうち2日しか開放できずにいたが、2年間継続してきた結果だろうか、問い合わせが増え、認知度が確実に上がっていることを実感している。</p> <p>PorqueARTのアトリエに通うメンバーも増えた。家庭ではなかなか扱えない絵の具や、紙粘土、手芸用品などが常に豊富に用意されている環境は、子どもたちの創作意欲を刺激しているようだ。またPorqueARTの活動を知った地域の方から「小学生の子どもがデッサンをきちんと学んでみたいと言って、デッサンのクラスはやっていないのか」という問い合わせから、開設が実現したデッサンクラスもある。このように、参加者や周りの人たちからの要望に応える形で、活動の幅を広げることができた。</p> <p>ある保護者から「このアトリエでの創作の時間が、ストレス発散や、心のバランスを保つのに、役立っているようだ」という感想をもらった。長く作品を近くで見ていると、作品から作者の心の状態が滲み出ているとはっきりと分かる瞬間が、確かにある。私自身の経験を振り返っても、何かものを作ったり、描いたりする時間が、心の平穏を取り戻すスイッチの役割を果たしていたことは多々あった。学校でもない、家でもないけれども、子どもたちにとって信頼できる場所としてのPorque ARTが、確立できつつあるのかもしれない。</p> <p>2018年の春からは、陶芸クラスを月に1回のペースで設立した。このクラスは、どちらかと言うと、子どもより大人向けのプログラムで、PorqueARTがこれまでなかなか接点を築けずにいた層と繋がることのできた。まだ決して多い参加人数とは言えないが、申し込みの問い合わせは継続して得ることができている。</p> <p>2017年の8月に開催した現代アーティスト・西川祥子さんによる人形作りのワークショップ「Hi!doll」では、実際のところ、大きな集客は叶わなかった。しかしながらその後の西川さんのアーティスト活動の発展に繋がりに、同内容のワークショップを、現在、鹿児島県で開催している。</p>					
助成金の使用金額及び使途					
材料費、アトリエ整備費として 18万円 イベント広報費として 2万円					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）					
2018年9月に、台東区根津にあるCOUZT CAFE + SHOPにて、子ども達の作品展を開催する。総勢16名の作品が、店内を飾る。 インターネットでの情報公開は8月上旬の予定。 https://porque-art.tumblr.com/					

